

『ゆとりと活力、そして調和のとれた「幸田」のまちづくり』

さこう 弘康

町政レポート

2009.04 No.10

発行：さこう 弘康 後援会

〒444-0193 額田郡幸田町大字芦谷字丸山 5 TEL 0564-56-7727 FAX 0564-56-7918

= ご挨拶 =

平成21年4月

春風が気持ちよく、過ごしやすい季節になりました。皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

早いもので、議員として3年目を迎えようとしています。皆さんの声を聞かせていただきながら、その代弁者として行政による各種事業展開に対し「議会でのチェック」ならびに「行政運営への提案」を進めてまいりました。今、世界的な景気後退局面に突入し、住民生活にも深刻な影響が出てきています。このような状況下、今後も生活者の声をしっかりと受け止め町政に届けてまいります。さらに住みよい「安心して暮らせる、安全な幸田のまちづくり」を目指してまいります。

皆様の今後の益々のご活躍とご健勝を心からご祈念申し上げます。



幸田町議会議員 酒向弘康

議会報告 3月定例会

平成21年3月定例会は、3月3日に召集され25日まで23日間の日程で開催されました。単行12件、補正予算関係10件、当初予算関係10件の計32件が上程され、原案通り可決されました。陳情2件・請願1件を処理しました。(当初予算の概要と主な議案を抜粋し記載します。)一般質問には、7名の議員が町政をただしました。(酒向は、3月5日13:00より登壇しました。)

新年度の当初予算案の集中審議

法人町民税9割減

新年度の当初予算は、一般会計:122億8,000万円(前年比8.1%減)、特別会計、水道会計をあわせて、総額200億1,292万円(前年比4.5%減)となっています。町税は、世界的な景気減速をうけ自動車関連産業などの業績悪化により、法人町民税が昨年の20億円から2億円に落ち込むなどを見込んだ内容です。町は、選択と集中で未来の子どもたちのために『住みよいまち、住みたくなるまちを目指して』を図るとしています。

	21年度	20年度	対前年比	伸び率
一般会計	122億8,000万円	133億5,800万円	10億7,800万円	8.1%
特別会計	65億2,181万円	64億1,829万円	1億0,352万円	1.6%
水道事業	12億1,111万円	11億7,296万円	3,815万円	3.3%
予算総額	200億1,292万円	209億4,925万円	9億3,633万円	4.5%



新年度の当初予算事務事業見直し（削減）による主な影響

	事業名	事業内容	削減内容	削減額	
ソフト事業（行事関連）	健康の町推進事業	健康まつり	休止	-146万円	
	環境衛生一般事業	環境学習講座、自然観察会	減額	-42万円	
	労働総務一般事業	勤労者住宅資金利子補助金	補助率引下げ	-98万円	
	商工業振興事業	彦左まつり	補助率減額	-61万円	
	小学校管理一般事業	修学旅行報奨金	減額	-37万円	
	中学校管理一般事業	海外派遣	休止	-720万円	
	中学校管理一般事業	修学旅行報奨金	減額	-63万円	
	ライフサークル運動推進事業	夏まつり	休止	-443万円	
	ライフサークル運動推進事業	凧揚げまつり	休止	-264万円	
	社会体育推進事業	駅伝	休止	-336万円	
		小計			-2,213万円
ハード事業（整備関連）	公用車集中管理事業	庁用バス更新	中止	-700万円	
	福祉巡回バス管理運営事業	巡回バス更新	中止	-380万円	
	公共駐車場管理運営事業	駅西第2駐車場拡張工事	次年度へ	-500万円	
	林道整備事業	須美南山1号線工事	休止	-480万円	
	林道整備事業	一之小屋線	休止	-90万円	
	県営土地改良事業	大井池地区	後年度へ	-500万円	
	公園一般事業	幸田公園用用地購入	後年度へ	-500万円	
	駅前再開発事業	建物移転補償	減額(後年度へ)	-1,140万円	
	(仮称)相見駅周辺開発整備事業	補償金等	凍結	-2億円	
	幸田小学校整備事業	印刷室増築等	次年度へ	-1,000万円	
	地震補強事業	荻谷・深溝小給食EV	後年度へ	-645万円	
		小計			-2億円5,935万円

ハード事業は、前年実績計画書との比較

予算付けされたもの

- ・新駅関係(H24年春に開業目指す)・幸田駅前開発。
- ・災害対策・防災倉庫整備拡充・備蓄医療品の充足。
- ・安全ｽｰｼﾞョの増員(2名 3名)による安全安心対応。
- ・学校給食センターの移転建設(2学期より配食)。
- ・国道23号バイパス「道の駅」(4月4日OPEN)。
- ・放課後子ども教室を幸田小学校に開設(新学期～)。
- ・妊産婦検診7回 14回まで無料化、ブックスタート事業。
- ・環境整備、太陽光発電システム補助制度推進。等

休止・縮小等されるもの

- ・こうた夏祭り・凧揚げ・新春駅伝ｼﾞｮｷﾞﾝｸﾞ大会の休止。
- ・中学生の海外派遣事業中止、小中学校修学旅行補助金削減。
- ・学校給食費の値上げ 各20円 小:240円、中:270円。
- ・町長、副町長、教育長給料見直し 5、3、2万円カット。等



防災対策（豪雨、洪水、地震）



学校給食センター移転建設



放課後子ども教室の拡大



地域振興（道の駅など）

その他の主な議案

- ・国民健康保険税条例の一部改正について 国民健康保険事業の適正化を図るため。（毎年増え続ける医療費対応）
- ・介護保険条例の一部改正について 第4期事業計画策定に伴い改正 保険料基準額は300円アップの3,500円に。
- ・介護従事者処遇改善臨時特例基金条例の制定について 介護保険の急激な上昇を抑制するための制定。
- ・財産の取得について 自動車NOX、PM法の該当車両のため更新する。救助工作 型の購入 金6,426万円。等

平成21年3月定例会での「さこう弘康」の一般質問

さこうの質問



町の答弁

Q1: 「ゼロ予算事業」の取り組みを

深刻な社会経済情勢の急激な悪化状況下、「さらなる行財政改革」の推進が求められる。以下を問う。
 「幸田町 行財政 改善 調査委員会」の内容と、行政にどのように反映し、その事例は？
 「儲ける」新たな歳入について、検討状況は？
 「抑える」事務改善提案制度の活性化を。
 「使わない」節約の改善の取り組みの強化を。
 全国の自治体に広がっている「ゼロ予算事業」本町も取り組みを。
 新年度から策定される第9次幸田町行政改革大綱の骨子案の考え方は？

A1: 職員パワーを使って事業展開

民間の委員から意見を聞き、行財政の簡素化と効率的運用、住民サービスの向上が目的。事例は、会議則制定や制服廃止採用等。
 HPや封筒の広告のポスター探し等は継続。制度を利用した提案なし。制度のありかたを検討。職員の政策研究の中でアイデアを取り上げ活性化。職員パワーを使って事業を展開する。
 三本柱で展開していく。
 ・住民の意識、視点に立った行政サービス推進
 ・将来を見据えた健全な行政運営の推進
 ・時代の変化に対応した人材育成と行政体制整備

Q2: 「アダプト制度」の導入を



これからは、行政主導から住民本位の地域づくりの推進が、大きな課題と考える。以下を問う。
 平成23年度以降「農地・水・環境保全向上対策」活動をどのようにつなげていくのか？
 地域が地域のニーズに対応していく、「協働の町づくり」のしくみ作りと支援の考えは？
 全国に広がっている「アダプト制度」を導入し、活動も行政の窓口も、一元化をしていくべきだ。

A2: わかりやすい体制づくり検討

基本的には、平成23年までの計画だが、事業が評価されれば、平成24年度以降も継続されると考える。
 多くの団体が環境・交通安全、防犯で地域を守る活動を展開していただいている。器材などの提供を含め検討する。
 町民の皆さんにわかりやすい形の体制を考え、検討をしていきたい。

<用語説明> アダプト制度とは？

1985年に、ハイウェイでの散乱ごみ問題が深刻化するアメリカのテキサス州で清掃美化活動を目的として導入されたのが始まりと言われています。アダプトとは、直訳すると「養子(ようし)縁組(えんぐみ)をする」という意味で、公園や道路、河川、空き地などの公共の場所を「子ども」に見立て、「里親」となって「養子(ようし)縁組(えんぐみ)」をし、いろいろな団体が自主的に美化活動に手を挙げ活動をする制度のこと。

働く仲間の代弁者・・・しっかりと耳を傾け、その声を代弁します。

定額給付金の支給は？

定額給付金等の申請期間は4月1日から、支給は4月下旬の見込み。

幸田町は、口座振込みです。(口座のない人は役場窓口での手続きが必要となります。)

対象者：3万7,363人 総額：5億8,041万円(事務費：2,200万円)

定額給付金・・・1人につき 12,000円

ただし、2月1日時点において65歳以上の方及び18歳以下の方については、1人につき20,000円

子育て応援特別手当・・・対象となる子ども1人につき36,000円 町内対象者数：669人

対象となる子は、平成14年4月2日から平成17年4月1日までに生まれた第2子以降のお子さん

*定額給付金とは別に支給されます。それぞれの申請書に記入していただく必要があります。



定額給付金の給付をよそおった「振り込め詐欺」や「個人情報の詐取」にご注意ください!

トピックス

「筆柿の里・幸田」道の駅がオープンしました。 「とれたての新鮮野菜や海産物の産直販売！」



国道23号岡崎バイパス沿線、桐山の下り線側(幸田町須美・桐山地内)に4月4日「筆柿の里・幸田」道の駅が誕生しました。道路利用者のための「休憩機能」(駐車場・トイレ)、道路利用者や地域の方々のための「情報発信機能」、そして「道の駅」をきっかけに町と町とが手を結びあう「地域の連携機能」の3つの機能を併せ持っています。農産物直売所(幸田の特産物をはじめ、近隣市町の海産物や加工品を販売)を設け、幸田をPRしていきます。

【所在地】 愛知県額田郡幸田町須美東山17番地5
 【路線名】 国道23号岡崎バイパス
 【営業時間】 9:00~18:00
 食堂・産直販売店・自販機等
 【駐車台数】 大型車34台・普通車38台・身障者用2台
 【休館日】 年中無休(ただし12月31日から1月4日は休業)



便利になりました！芦谷IC 里方面(蒲郡方面)3月17日に開通。



芦谷ICへのアクセス道路

- 町道芦谷・荻1号線 -



写真
芦谷IC入り口付近



写真
鍛冶山からの交差点付近

「くらしの相談」

直接電話でもお気軽に！

地域での困りごと、町政に対するご意見・ご要望など、お気軽に「さこう弘康 くらしの相談室」をご利用ください。

連絡先 (事務所)Tel : 0564-56-7727 Fax : 0564-56-7918
 (自宅)Tel : 0564-62-6950



「さこう弘康」のホームページから、メールもご利用ください。



さこう弘康のホームページ

検索